

保育の現場の声を聞く

〈 十和田地区保育研究会との意見交換会 〉



研究会の皆様と意見を交わす民生福祉常任委員会委員

民生福祉常任委員会委員は、十和田地区保育研究会との意見交換会に参加しました。

研究会から示された、コロナ禍における保育施設の実態、市の教育支援についての要望、児童虐待の早期発見のための仕組みづくり、育児に不安や困難を抱える家庭への支援システムの構築等のテーマについて、双方で意見を交わしました。

保育の現場からの問題提起を考える機会、そしてコロナ対策のために学校が臨時休業した間も、保育園は感染予防を徹底しながら開所し続けてきた努力を再認識する機会となりました。

タブレット端末の導入方針を決定

スマート議会推進チームは、議会にタブレット端末（携帯型の板状のコンピューター）を導入するために検討してきた内容を、昨年12月に全員協議会で報告しました。

今後はこの内容をもとに、来年度の導入を目指します。

【報告内容】

- ・タブレット端末機種はiPad Airとする（3年間のレンタル）。
- ・会議システムは、導入実績の多さと検索機能の優位性から、東京インタープレイ（株）のSide Booksとする。

- ・導入初年度の運用経費の負担区分は、全額公費とする（会議の運営方法を、タブレット端末を用いたものに改めていくため）。導入2年目以降、経費負担区分の見直しを検討する。
- ・令和3年度に端末と会議システムを順次導入し、試験運用をする（紙資料とデータ資料を併用）。

まとめ